

## 【2019年度学校自己点検・自己評価を実施して】

本校では自己点検・自己評価として、職員の評価とすべての学科目の授業評価を行っています。前年度の自己点検・評価結果を踏まえ、事業計画を策定し取り組んでいます。

2019年度の事業計画では、教務部の重点テーマを「働き方改革—業務改善—」とし、①受験者の数と質の確保 ②学生の教育充実及び国家試験対策 ③学校関係者評価の導入 ④新カリキュラム実施に向けたワーキンググループ等の設置 ⑤教職員のワークライフバランスの整備等に取り組み、学習・教育環境の整備を行い、今年度の卒業生の看護師国家試験合格率は100%を達成することができました。また、新カリキュラムへ移行するにあたっての検討により、より現行の教育について厳しい評価がなされました。教職員においては、「働き方改革」に伴い勤務時間管理のシステムの導入により勤務時間の管理とともに各自の勤務時間の見える化が進み、業務の精選への意識付けを図ることができました。

評価の低い項目では、国際交流の評価が最も低くなっています。国際看護としての授業は行っていますが、自己学習に適した環境の整備が不十分な状況と捉えています。ICTの活用も視野に学生のインターネット接続が容易になる環境の整備が必要と考えます。また、研究の評価も低く、教員への支援が見え難い状況や研究の希望があるのに支援が受けられないと捉えているとも考えられ、研究への支援を継続して行っています。

今後「ICTを活用した教育」や「2022年度からのカリキュラム変更」を踏まえ、本校の教育理念である、命の大切さ・尊さを守る看護師、自ら考え行動する看護師、職業に自信と誇りを持つ看護師の育成をめざし、今後もさらに教職員一丸となってより良い学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。引き続き関係者の皆様の御指導、御助言を賜りますようお願い申し上げます。

## 【2019年度学校関係者評価を実施して】

2020年5月15日 16:30から本校において行われました。

2019年の自己点検自己評価の結果を学校から説明し、概ね了承され、次のご意見等を頂いた。

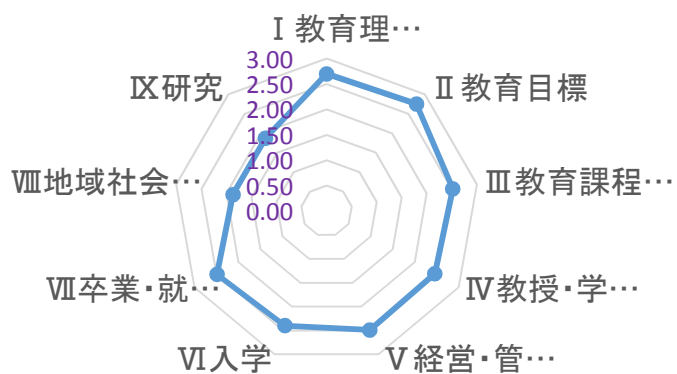
- ・自己評価の低いところ（地域社会・国際交流、研究）の具体的な項目について確認を受けた。
- ・継続的な公開に向けて、公開方法や自己点検の項目についての検討も必要
- ・地域社会の評価が低いため、地域の理解を含めた教育の内容を検討
- ・国際交流での講師の確認（海外での活動経験のある講師の選択）
- ・国際の外国の捉え方（アジア地域やアメリカ等）の検討をして、広げていく方法もあるのではないかと
- ・研究や授業の教材研究について取り組む必要性は理解されているが、時間の確保は難しいため、継続した支援が必要
- ・授業評価の満足度は94%以上と高いが、今後も継続しての取組が必要

今後の学校運営に取り入れてまいります。

①2019年度自己評価結果

項目	総括的学校自己評価結果
I 教育理念・教育目的	2.70
II 教育目標	2.75
III 教育課程経営	2.52
IV 教授・学習・評価過程	2.46
V 経営・管理過程	2.49
VI 入学	2.40
VII 卒業・就業・進学	2.49
VIII 地域社会／国際交流	1.87
IX 研究	1.87

自己点検結果

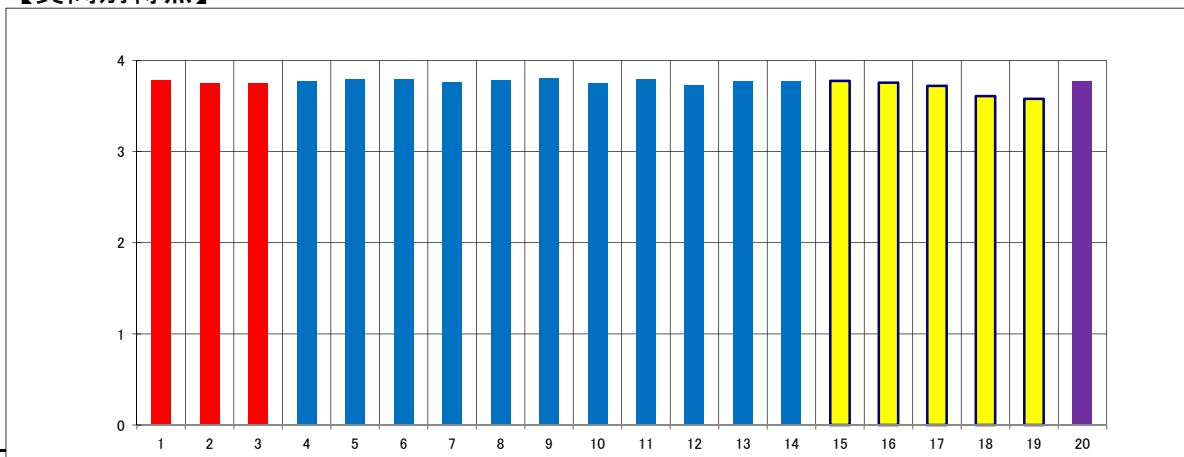


【学校集計】

学校名 : 太田看護専門学校

	質問番号	質問内容	学校平均
授業内容 と構成	1	教育目標と科目のつながりが理解できた。	3.78
	2	授業の要点が分かりやすかった。	3.74
	3	授業の結論が明確だった。	3.75
教育技術	4	学生への質問の内容・量は適切だった。	3.77
	5	説明の際の用語や事例は適切だった。	3.79
	6	教材の使用は適切だった。	3.79
	7	教員からの一方的な講義ばかりではなく、学生も参加できた。	3.75
	8	教員は学生を尊重した態度で接していた。	3.78
	9	教員自身の意見や考えを適度に現していた。	3.8
	10	教員の説明は、具体的でわかりやすかった。	3.75
	11	教員の声は聞き取りやすかった。	3.79
	12	教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めていた。	3.73
	13	課題の量は適切だった。	3.77
	14	課題は授業の理解に役だった。	3.77
学生自己評価	15	課題には意欲的に取り組んだ。	3.78
	16	授業には興味を持って取り組んだ。	3.76
	17	授業には集中して取り組み、準備物を忘れたこともなかった。	3.72
	18	自分の授業態度は、私語や居眠りなどはなかった。	3.61
	19	わからないことは、自分から質問したり、自己学習をしたりして解決に	3.58
価評合総	20	全体としてこの授業に満足している。	3.77

【質問別得点】



総括

学校全体の評価結果は4点満点のところ平均3.75でした。得点率に換算しますと94%でした。昨年の97%より3ポイントの低下ですが満足度は高いと考えます。授業内容と構成の得点率は93%、教育技術は95%、学生の自己評価は92%でしたが、それぞれ昨年より1ポイント低下していました。自由記述からは資料の印刷や板書の文字の大きさなど教材に関するご意見がありました。資料の印刷方法やサイズについては統一基準を設けました。板書の文字のサイズは規定サイズの周知を継続していきます。また、自由記述の中にはグループワークが楽しかったという記述が増えた印象があります。アクティブラーニングで育ってくる学生に対して授業の満足度を高めるためには、知的好奇心を刺激し達成感や知的満足感の得られる授業方法の工夫がさらに必要になってきます。それらは学生自身の自己評価にも繋がってくると思います。今後も勉強会の開催や研修参加を計画的に行い教員の授業方法の研鑽を積んでいきます。